



福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会（略称：横浜市社協）



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集 若者をつくる福祉のまち ～若者×地域の取組～



福よこクイズプレゼント

本革のミニポーチ
→詳しくは裏表紙へ



企画打合せに集まったアクションボート横浜のメンバー
(アクションボート横浜事務所にて：7月11日撮影)
→詳しくは特集で



もくじ

福祉の仕事 NPO法人スタッフp4

Let's try ボランティア 若者発! ほどがやサンタ 定例おそうじ.....p5

市社協情報 第10回 よこはま地域福祉フォーラムp6

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶

福祉よこはま 検索



若者をつくる福祉のまち

～若者×地域の取組～

NPO法人アクションポート横浜とは

平成20(2008)年9月に設立。「まちにたくさんの主人公を」を合言葉に、若者とNPO、企業、大学、行政、地域などと一緒に、まちを盛り上げる活動を展開しています。地域の課題解決や活性化に若者が関わることで、新しい価値を生みだし、継続的な地域づくりにつなげています。



学生スタッフとして
関わる3人に
「アクションポート」
について聞きました



いとう
伊藤 わかなさん
大学4年生

価値観や視野が広がりました

大学の友人の地元愛に影響を受け、自分も地元横浜で地域活動がしてみたいと考えました。

アクションポートの魅力は、企業や福祉施設などと連携し、明るく頼れる大人たちや学生、多世代の地域の方々と関わり合い、多様な価値観や知識を吸収できることです。活動を通じ、身近な暮らしを支えてくれる人たちの存在に気づき、普段の生活がより面白く感じるようになりました。

まちには、若者が輝ける場が数多くあります。興味があっても自然にたどり着くのは難しいからこそ、アクションポートのような気持ちと場所をつなぐ中間支援組織※の役割は欠かせないと感じています。

※市民団体、企業、行政等の多様な組織をつなぎ、活動を支援する組織のこと



なかやま ともえ
中山 智萌さん
大学4年生

仲間を増やして横浜を盛り上げたい

大学の授業を通してまちづくりに興味を持ち、「NPOインターンシップ※1」に参加しました。

活動の中で印象的だったのは、地域活動を行う若者の取組を広げる「横浜アクションアワード※2」に関わったことです。普段の学生生活では出会えないような、さまざまな経験を積んだ方々と出会うことができました。

アクションポートには、地域活動を応援してくれる大人や、それぞれの思いを持った学生が集まっています。一緒に考え、自分の視野を広げてくれる貴重な場です。今後も活動を通して横浜を盛り上げていきたいと思っています。



ふじしま みきと
藤島 美聡さん
大学4年生

楽しい貴重な居場所です

参加のきっかけは、「NPOインターンシップ※1」に参加した大学の先輩から声を掛けてもらったことです。

アクションポートは、私にとって一つの居場所であり、拠り所です。上京してから大学とアルバイト先での交流のみだったので、学生スタッフという別の肩書を持ち、活動にやりがいを感じました。

地元でも地域と若者がつながる取組に注目しながら、アクションポートで培った経験を生かしていきたいです。学生の皆さん、楽しいのでぜひ参加してみてください。

若者団体による地域活動を発信！ 「横浜アクションマップ」

横浜で活動する若者による団体を集めて掲載しています。「地域活動はとても楽しい！」そんな魅力がたくさん詰まっています。「若者による地域団体を知りたい」「若者とコラボした取組がしたい」「横浜で誰かの力になりたい」と思った時、ぜひ参考にしてほしいです。

ダウンロードは
こちらから



企業、地域、行政などと連携し、学生が地域貢献に主体的に取り組める場をサポートしているNPO法人アクションポート横浜(以下、アクションポート)。若者が主役となって、さまざまな活動に、いきいきと取り組んでいる様子を紹介します。

若者×地域の取組を紹介します

(※1) NPOインターンシップ

大学生が地域のNPOにインターン生として参加。横浜市内外の8大学と子育て支援・障害福祉・外国人支援・環境保全など20以上の受け入れ団体が連携して実施しています。

◆インターンシップ…学生を対象とした就業体験プログラム

子育て支援の実習



学生が親子に向けた読み聞かせも好評でした

受け入れ団体の声

認定NPO法人びーのびーの(港北区)

参加した学生の皆さんに地域の子育て支援の状況を伝え、団体の取組に興味・関心を持ってもらえました。

親子が楽しめるプログラムを自主的に考えてくれて、子ども達もとても喜んでいました。私たちにも新しい風を入れてもらい、感謝しています。

事前研修会



学生スタッフが司会・進行役を務めます

研修参加者の声

- 就職活動を前に、自分の強み、弱みを知りたいと思い参加しました。
- 大学の授業がきっかけでしたが、地域に貢献し、自分自身も成長する時間にしたいです。

(※2) 横浜アクションアワード

地域とともに活動している若者たちの取組を多くの方に知ってもらい、広げていくために開催。

学生と地域が協働して取り組んだ活動を発表しあい、活動支援につながる場です。企業、行政、NPO、地域団体、高校生が審査員です。



詳細はコチラ



2月に開催された表彰式の様子



つながる
かんけい

企画&作戦会議実施中!

ツナカンハウス

NPOインターンシップを経験した大学生やアクションポートの卒業生などが集まる場。毎月1回開催し活動の近況を報告しあいます。この日は企業とコラボしたプロジェクトの報告などがあり、社会福祉の道に進んだ卒業生も顔を出しました。



やりたい企画を持っていき、みんなからアドバイスをもらえます

まちに、もっとたくさんの主人公を!

これからの地域には、担い手がますます必要です。例えば、通っている大学は市外にあって、地元横浜で地域活動をしたいと思っている学生はたくさんいます。一方で、その思いをつなぐ機会がまだまだ不足していると感じています。今ある枠組みに若者を当てはめるのではなく、若者自身の主体性を引き出して、大人たちとともに活躍できる、そんな地域づくりをこれからも目指していきたいと思っています。たくさんの若者が地域の一員となってまちで活躍できるよう、これからも横浜を盛り上げていきたいです。

NPO法人アクションポート横浜 代表理事 高城 芳之さん



問い合わせ

NPO法人 アクションポート横浜

【住所】横浜市中区山下町94

横浜中華街パーキング協同組合内

☎045-662-4395

活動の詳細は
こちらから▶



福祉の仕事…4ページをご覧ください。



地域活動の入口を増やし 一人ひとりが活躍できる場を探したい

NPO法人アクションポート横浜の
代表理事

たかじょう

よしゆき

高城 芳之さん に聞きました

きっかけ 大学在学中、仲間と行っていたボランティア活動への依頼が増えたことから、学生ボランティアとNPOのマッチング会を企画・実施しました。その中で、横浜には素敵な地域活動がたくさんあることを知りました。結果的には課題も多く残り、お互いの人間関係を構築する大切さや、コーディネートには技術や経験が必要だと知り、両者を結びつける仕事に興味を持ちました。

仕事 若者とNPOや企業、行政、地域をつなぐプログラムを企画したり、人材をマッチングしたりするプロデューサーに近いコーディネーターをしています。活動の運営は学生スタッフに担ってもらい、大人達の協力を得ながら、若者が主体性を持って動けるようにサポートをしています。

心がけていること どんな人とも無理して合わせず、素の自分で応じるようにしています。アクションポートで活動希望の若者にも、本人の思いと合わない場合は他のNPOを紹介することがあります。本音で話して、一人ひとりが活躍できる場を探したいと思っています。

やりがい・喜び 人と人が出会い、活動を目にし、その後の変化、成長を間近で見ることができます。ここを卒業した後もつながりは続き、後輩に経験を伝えてくれるなど、活動を支えてくれる良い循環が生まれています。

この仕事に興味のある人へ NPOは、市民の思いや社会への関心を出発点に、立場や組織の垣根を越えて、さまざまな人の参加や協力を得られる組織です。一人ではできなかったことが、NPOという場を通じて実現できたり、同じ思いを持つ人と出会うことができたりします。そうした「共感や協働の場」を作り出せるのもこの仕事の魅力です。福祉や地域に関心のある方には、ぜひNPOという選択肢にも目を向けてみてほしいです。

特定非営利活動法人(NPO法人)とは…

NPO法人とは、NPO法(特定非営利活動促進法)[平成10(1998)年施行]に基づいて、不特定かつ多数のものの利益のために活動する団体のことです。設立には、都道府県や政令市の認証が必要となります。(神奈川県ホームページより)

NPO法人アクションポート横浜とは…

特集ページ(P2~3)にて紹介しています。



▲秘密基地のような
事務所入口です



さまざまな人達と
関わりができることが
魅力です!

住所 横浜市中区山下町 94
横浜中華街パーキング協同組合内
電話 ☎045-662-4395 ホームページ▶



福祉人材に関する情報

かながわ福祉
人材センター

ホームページ▶



横浜市内の
介護人材
関連情報

ホームページ▶



広告

みんなが安心して暮らせる地域づくりを目指す共同募金運動と 自治会町内会の活動に一層のご理解とご協力をお願いします!

自治会町内会は「安全で安心できる住みよいまちづくり」を目指し、防災や福祉、美化活動やお祭り、運動会などのレクリエーション活動を行っています。

人と人とのつながりを大切にし、地域で
支え合う社会をつくっていくためにも自治会
町内会活動に参加してみませんか?



自治会町内会の
活動はこちらを
ご覧ください。▶



〒231-8482
横浜市中区桜木町1-1
横浜市健康福祉総合センター8階
☎045-201-8617



神奈川県
共同募金会
横浜市支会

Let's try
ボランティア



ほどがやサンタ 定例おそうじ

若者発!

～赤い帽子でまちに笑顔と元気! ボランティアから始まるつながり～

まちにサンタが出没?!...毎月第2・4土曜日、保土ヶ谷区にある『ほどがや市民活動センター「アワーズ」』では、「ほどがやサンタ 定例おそうじ」を実施しています。若者が中心になり、まちを歩きながらかみ拾いを行う清掃ボランティアです。

笑顔と赤い帽子がトレードマークのこの活動に地域の人思わず笑顔になって、まちがどんどん明るくなっています。



参加者の声



大学生

相鉄沿線で活動しているボランティア団体との交流会でこの活動を知って参加しました。多世代の方とつながるのが魅力で、雰囲気もとてもオープンなので定期的に参加しています。



民生委員・児童委員

この活動が地域のつながりをつくるきっかけになっています。活動を通じて出会った方が普段の生活の中でもあいさつしてくれたら...こんなに嬉しいことはないです。若い人が参加すると活動自体も元気になります。

ここがポイント!



ほどがや市民活動センター
「アワーズ」センター長
きたがわ 北川 さん

学生スタッフの発案でスタートし、主体的に取り組んできたからこそ、ここまで継続できていると思います。

現在では、学生や社会人、子育て中のママ・パパと子どもたちや地域の民生委員・児童委員さんなど、さまざまな世代が参加し、清掃を通じた世代間交流が生まれています。



ほどがや市民活動センター「アワーズ」
学生スタッフ 山下 さん・仲村 さん

ここに参加することで、いろいろな世代の人と交流することができます。新しいつながりが生まれるのが魅力です。

特別な準備はいらない。「ボランティアやってみよう!」という気持ちだけで参加できます。

ほどがや市民活動センター「アワーズ」

地域の市民活動・生涯学習を支援し、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現するための施設です。

住所 横浜市保土ヶ谷区星川1-2-1
電話 045-334-6306 **FAX** 045-339-5120
開館時間 午前9時～午後9時(日・祝日は午後5時まで)
休館日 原則第3月曜日・年末年始

ホームページは
こちら



※身近な地域における市民活動を支援するため、各区に市民活動支援センター・区民活動センターがあり、それぞれ特色ある事業を実施しています。

地域の人とすれ違うときは
元気にあいさつをしましょう!



活動前の
オリエンテーション



手袋と帽子の準備をして
アワーズを出発



地域の人にも
「おはようございます!」と
あいさつしながら
みんなでごみ拾い



約2時間の活動も
あっという間!!
最後は拾ったごみの
重さを確認!



横浜市ボランティアセンターより

地域には、若い世代の皆さんが活躍できるボランティア活動がたくさんあります。ご自身の興味やスケジュールに合わせて参加できる活動も多く、「無理なく、できることから」始められます。ボランティア活動に興味がある方はぜひ、ご相談ください。

各区のボランティアセンター
(横浜市内18区 社会福祉協議会)は
こちら



この記事に関する問い合わせは
横浜市ボランティアセンターへ

横浜市
ボランティアセンター
☎045-201-8620



第10回 よこはま地域福祉フォーラム

「支える」「支えられる」の垣根を越えて、誰もが「その人らしさ」を発揮してともに暮らすことのできる地域をつくるために私たちに何ができるのか、一緒に考えていきます。

日時 令和7年12月4日(木) 13:00~16:00

場所 関内ホール(横浜市中区住吉町4-42-1)

内容 第1部 基調講演

講演タイトル:「ごちゃまぜ」からみえる未来

~このまちで、ゆるやかに交わりともに暮らす~

〈講師〉加藤 忠相 氏(株式会社 あおいけあ 代表取締役)

介護事業所での実践から、さまざまな人が「ごちゃまぜ」に関わり合っ
ともに暮らすことの大切さについてご講演いただきます。

第2部 実践報告

地域活動者、関係機関・団体の皆さまより「横浜らしい地域の支えあい活動」について発表いただきます。

〈登壇区〉旭区・神奈川区

どなたでも
無料でご参加
いただけます



▲講師:加藤 忠相 氏

【申込・問い合わせ】
横浜市社会福祉協議会
企画部
☎045-201-2090

詳細・申込は
こちらから▶



賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和7年4月11日~7月11日 新規受付・継続受付分

個人

- 星崎 清美 様
- 齋藤 広正 様
- 相澤 直樹 様
- 中野間 誠 様
- 中山 周二 様
- 高橋 昌三郎 様

団体

- 株式会社 センチュリー工業 様
- 株式会社 ビオン工業 様
- 日興テクノス 株式会社 様
- NPO法人 そうの歌 様
- 特別養護老人ホーム 今宿ホーム 様
- 株式会社 アースアンドウォーター 様
- 丸五運輸 株式会社 様
- ユークス総合建築 株式会社 様
- 有限会社 アーバンハウス 様
- モービルオート株式会社 様
- 横浜商工会議所 様

【問い合わせ】
横浜市社会福祉協議会 総務部
☎045-201-2096

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



みんなのきもち ありがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。

~寄付者の取組紹介~

「こどもの未来プロジェクト」(横浜幸銀信用組合様)

横浜幸銀信用組合様は、「こどもの未来プロジェクト」の一環として、
こどもの自立を支援する本会実施事業【児童養護施設等の退所時
チャレンジ・退所後再チャレンジ支援事業(以下、本事業)】を中心に
令和2年度から5年間にわたりご寄付いただいています。

本会児童福祉部会の施設から横浜幸銀信用組合様に児童養護施設
等を退所した子ども達への支援が不足している状況をお伝えしたところ、
本会へご寄付いただけることになり、その結果として本事業が令和3年度
より開始する運びになりました。

横浜幸銀信用組合様をはじめ
とした様々な方からのご寄付により、
これまでに児童養護施設等を退所
した119名の子ども達を支援する
ことができています。



▲贈呈式の様子

横浜幸銀信用組合様より

令和2年、本店営業部の新築移転を機に、地域の皆さまと地域社会への
恩返しとして、「子どもや子育て世代」を応援する「こどもの未来プロジェクト」
を開始しました。

“子どもたちの未来のために私たちができること”をコンセプトに、「こども
の貧困解消」、「次世代の育成サポート」、「環境の改善とクリーンな社会の
構築」の3つのアクションプランを掲げ活動を積極的
に行っています。

これまで展開してきた社会貢献活動を単発で終わ
らせず、継続し、広げていくことが大切だと感じてい
ます。どのような環境や状況の子どもたちにも夢や希
望を持ってもらえるよう今後も当組合にしかできな
い社会貢献活動を推進してまいります。



寄付のご相談はコチラ ☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和7年4月1日~6月30日受付分(受入順)

金銭寄付者

〈個人〉

- 稲部 多美子 様
- 山崎 泰則 様
- よこはまシニアボランティアポイント
登録者一同 様

〈企業・団体〉

- 横浜信用金庫 理事長 春日 隆 様(4件)
- 株式会社 横浜エクセレンス 様
- 株式会社 創健社 様
- 横浜市社会福祉センター
利用者一同 様(2件)
- 富士造園 株式会社 様
- ふれあいチャリティバザー 実行委員会 様
- 一般社団法人 タカナシ食と人を育む会 様
- メモリーズ 株式会社 様
- いのもと分析セラピーオフィス 様(2件)
- 日本ハムマーケティング 株式会社
- 南関東販売部 横浜営業所 様

●ブックオフコーポレーション 株式会社

(キモチと。) 様

- KLA Foundation 様
- 株式会社 エーミート 様
- 〈匿名寄付〉(56件)

物品寄付者

〈企業・団体〉

- 株式会社 セブンイレブン・ジャパン 様(2件)
- 三菱重工工業株式会社
- 三菱重工グループ労働組合連合
本社・横浜地区本部 様
- 株式会社 ロフト 様
- 横浜ロイヤルパークホテル
総支配人 雄城 隆史 様
- 宮内建設 株式会社 様
- 株式会社 横浜スイミングセンター 様

ヨコハマ寄付本寄付者

〈個人〉

- 清泉女学院 図書委員会 様
- 高橋 郁雄 様
- 原田 宏一 様

〈企業・団体〉

- 横浜市北山田地区センター 様(2件)
- 〈横浜市社会福祉協議会運営施設等〉
- 老人福祉センター 横浜市ユートピア青葉
もえぎ野地域ケアプラザ 様(2件)
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様
(5件)
- 横浜市篠原地域ケアプラザ 様
- 横浜市東永谷地域ケアプラザ 様
- 横浜市東戸塚地域ケアプラザ 様
- 横浜市港南区社会福祉協議会 様
- 横浜市神奈川区社会福祉協議会 様
- 〈匿名寄付〉(57件)

弁護士や司法書士による
遺贈寄付の専門相談を受け
付けています。

毎月第2水曜日
(要予約)

ホームページ▶



ヨコ寄付

本会への寄付金を活用し、
制度では対応できない課題
の解決を目指します

ホームページ▶



令和7年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

みんなの声



前号の感想

前号の内容

- 特集
アートを通じたまちづくり
(生活介護事業所カブカブ川和、
カブカブWA!)
- 福祉の仕事
中途障害者地域活動センターの職員
- Let's tryボランティア
気軽に参加! ボランティアデビュー

アートを通じたまちづくりで紹介されている作品がどれも素敵で可愛らしくて、こんな柄のTシャツ着たいな、こんなイラスト入りのバッグ欲しいなと、もっと近くで見てみたいと思いました。
(青葉区 ささお)

ボランティアデビューの記事で、南区大判焼きグループの皆様が活動を30年継続されていることに頭が下がります。皆さんの表情が明るくて良いですね! 隣の港南区にも出張しに来て欲しいです。
(港南区 はなな)

福祉の仕事とボランティアデビューの記事の方々の「活動をはじめたきっかけ」が印象的でした。
人のためにとり始めて始めたことが、いつの間にか自分の楽しみに繋がるようなボランティア活動になったら素敵だなと思います。
(港北区 チーチー)

中途障害は、身体面だけではなく、精神面でのサポートも必要な障害だと思います。障害とともに「生き活き」と社会で活動していくための場が、もっと浸透していくことを願っています!
(南区 K.H)

みんなの声は「福よこクイズ」に寄せられた感想・ご意見を掲載しています。

クイズに答えて、プレゼントにご応募ください /

福よこクイズ

ご感想もお待ちしております!

Q (特集・福祉の仕事)「特定非営利活動法人(〇〇〇法人)」は、平成10(1998)年に施行された特定非営利活動促進法に基づいて、ボランティア活動をはじめとする市民の自由な社会貢献活動を行う団体です。(アルファベット大文字3文字)

今号のプレゼント

本革のミニポーチ

本革で制作したミニポーチです。コインやカードケース、アクセサリ入れとしてお使いいただけます。

緑区にある障害者就労支援事業所アルカナエバ台村町事業所は「スタンドヴィレッジストア」という店名でいろいろな革製品を手作りして販売しています。ぜひお立ち寄りください。



アルカナエバ
ホームページ

アルカナエバ台村町
Instagram



横:約13cm×縦:約8cm ※個体差があります ※イラストはイメージです

「みんなの声」に掲載された方を含み、クイズの正解者の中から抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。
締切:令和7年10月31日(金) 必着
当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

応募方法

はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、次の項目をご記入のうえお送りください。

項目

- 1) 記事の感想・ご意見
- 2) 福祉よこはまの入手方法
- 3) 福祉よこはまの入手回数
- 4) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否
(匿名希望はイニシャルを記載)
- 5) クイズの答え
- 6) 氏名(ふりがな)
- 7) 年齢
- 8) 電話番号
- 9) 郵便番号・住所

ご感想のみの方も
お待ちしております。

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協「福よこクイズ」係
FAX 045-201-8385
Eメール
fukuyoko@yokohamashakyo.jp

「福よこクイズ」応募フォーム▶



【個人情報取扱】

応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

前号215号「福よこクイズ」の答えは、「地域」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

(特集)◆今回の取材を通じて、地元横浜でのボランティア活動、まちづくりに関心のあるたくさんの学生と出会えました。「思いはあっても「つなげる人」がまだまだ少ない」と話す高城さん。高城さんの活動の始まりも学生時代に会った社協職員がきっかけの一つだったと知り、感慨深いものがありました。「きっかけをつくる・思いをつなぐ」、社協の大切な役割を実感しました。
◆ツナカンハウスでは、礼儀正しい学生たちが地域活動についていきいきと話してくれました。こんな学生生活が羨ましくもありましたが、「活動するタイミングは人それぞれ」とのお話も。今は各所で多種多様なボランティアもありますので、あの頃できなかったことに挑戦することを、これからの楽しみにするのでもいいかもしれません。

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



〈発行〉
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉
株式会社 オールスタッフ
次号▶No.217
令和7年12月発行予定